

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
保健 (健康増進)	◎市民健康チェックの推進(仮称)	<p>①市民意識を高める。</p> <p>②健康づくり都市宣言に合わせて事業の推進を図る。</p> <p>③保健指導員活動と市民間での自主活動を展開する。</p> <p>④特定健診受診率を向上させる。</p> <p>⑥健診のための移送サービス制度をつくる。</p> <p>⑦自治会単位での健康づくりを進める。</p> <p>⑧健診を受けやすい体制づくりを進める。</p> <p>⑨ホームドクターを推進する</p>	<p>→広報誌へ毎月健診の受診率を公表して市民意識を高めていく。また地区別の健康講座を定例化してPRしていく。</p> <p>→あらゆる機会を捉えて粘り強くPRする。</p> <p>→保健指導員の数を増やす。</p> <p>→個別健診の徹底と集団健診の併用を検討していく。</p> <p>→健診受診率の高い地域の研究、分析、保健指導員と地域住民の関係を研究する。</p> <p>→受診案内通知に工夫を凝らす。</p>	<p>【市民】自分のホームドクターを決める。</p>
保健 (健康づくり体制)	◎健康づくり機関の更なる充実と活用(仮称)	<p>①健康習慣の実践可能な推進。</p> <p>②食を通じた地域活動を進める。</p> <p>③健康づくりための環境を整える。</p> <p>④市民“1人1スポーツ”活動にとりくむ。</p>	<p>→健康教育の啓蒙活動を進める。(禁煙、節酒、減塩、肥満、運動など生活習慣の改善意識を高める)</p> <p>→料理教室の開催、食の栄養表示運動の展開、地産地消のヘルシーレストランの認定を進める。</p> <p>→健康寿命の延伸(寝たきり、認知症などで要介護状態にならないための体制づくり)のために、FMとうみに“健康体操”の定時放送枠を設けて日頃から運動できる環境や、各区にウォーキングコースを設け、気軽に運動ができる環境を行政区レベルで推進する。</p> <p>→子どもから高齢者まで、一人が一つのスポーツを決め実践していく。</p>	<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の見直しを進める。 生活スタイルに見合った改善事項を見つけ、実行できるところから取り組む。 健康教育へ積極的に参加する <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診の必要性を啓蒙する。 生活習慣病の予防について知識の普及を行う。
保健 (保健・医療の連携)	◎健康を支える医療の推進(仮称)	<p>①市民病院の健康管理部と市健康保健課の相互補完機能をつくる。</p>		

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
保健	◎心の健康づくり	※ 市役所視点から施策テーマへの追加を検討しています。		
	◎感染症対策			
	◎母子保健の推進			
	◎食育の推進			
医療	◎市民病院医療体制の充実強化（仮称）	①特色のある機能病院へ転換を図る。 ②アットホーム的な雰囲気づくりを進める。		
医療 （地域医療連携）	◎地域医療体制の充実による医療ネットワーク形成（仮称）	①相互補完医療ネットワークをつくる。 ②安心して在宅医療が受けられる支援体制づくりを進める。	→市内医療機関や訪問看護ステーション等と連絡をとり、24時間365日、医療を提供できる体制をつくる。 →在宅で安心して温かく見守られ死ねる、訪問診療・看護・福祉の支援体制をつくっていく。	
医療 （経営管理）	◎市民病院の健全経営の確保（仮称）	①病床利用率を上げる。 ②市民に病院の実情を知ってもらう広報活動を進める。		

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
福祉 (ボランティア)	◎福祉意識の高揚と地域福祉の担い手育成 (仮称)	①地域ボランティアづくりを進める ②社会福祉協議会の活動を充実させる。 ③地域単位のボランティア活動の人材育成を進める。	→生涯学習も兼ねた“人づくり”を進める。	
福祉 (介護予防)	◎高齢者の生きがい活動と介護予防の充実 (仮称)	①温泉券の有効活用ネットワーク制度をつくる。 ②“健康づくりコミュニティ事業”を進める。 ③スポーツや文化活動の更なる進展を図る。	→入浴券の無料配布について、必要でない人は捨ててしまうのではなく、必要な人へ券を再配布できるようなバンク的な仕組みをつくる。 →FMとうみに“健康体操”の定時放送枠を設けるとともに、各区にウォーキングコースを設け、気軽に運動ができる環境を行政区レベルで推進する。	
福祉 (高齢者世帯)	◎地域福祉活動の推進 (仮称)	①民生児童委員の定数を増やす。 ②自治会単位に活動する取り組みに対しては補助金制度を設ける。 ③安否確認と話し相手活動を進める。	→民生児童委員の定数を増やすことが法的に困難であれば、民生委員のような仕事に従事する地域人材を養成する。 →訪問に加えて、電話で時々行う。	
福祉 (交通)	◎福祉視点の公共交通ネットワークの確立 (仮称)	①デマンド交通を再構築する。	→ハンディキャップがあっても手軽に利用できる、また“いきいきサロン”などの地区の集まりでも利用できる移送サービスに拡充していく。	

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
福祉 (給付事業)	◎生活福祉と社会保障制度の充実(仮称)			
福祉 (サービス 基盤)	◎高齢者介護サービスの充実(仮称) ◎障害者の自立生活支援の充実(仮称)	①地域包括システムの確立を進める。	→個人を取り巻く、住まい、医療、介護、予防、生活支援が、日常生活の場で一体的に提供できる地域サポート体制をつくる。	
福祉 (生活バリア)	◎快適な生活空間の創出(仮称) ※第1次総合計画・後期基本計画の施策を引き続き踏襲	①バリアフリー化の整備推進		
福祉 (連携)	◎保健・医療・福祉の連携による総合的な支援体制の確立(仮称)			